

## 平成24年度4月定例記者会見 会見録

日時 平成24年4月25日（水）午前11時30分～11時45分

場所 市役所2階 第1特別会議室

（市長）

私から、お話をさせていただきます。

始めにリニア期成同盟会によりますJR東海への要望についてでございます。

すでにご案内のとおり、先日、黒岩知事と私とで、JR東海の山田社長に面会をさせていただきました。リニア中央新幹線の県内駅の駅設置に関する要望として、橋本駅周辺に設置するよう要望を出させていただきました。山田社長からは「地元の意見も踏まえつつ、環境影響評価の準備書を今行っているところですが、公告する段階までに絞り込む」との回答をいただきました。前向きに受け止めていただいたものと捉えております。駅の設置はぜひ橋本駅周辺に設置をしていただきたい、このように思っております。

次に、道州制推進知事・指定都市市長連合についてでございます。

基礎自治体につきましては、合併や中核市等の制度の創設、特例条例による県業務の移管等によりまして、規模、能力は大きく向上しております。相対的に県など広域自治体の役割が、少なくなってきたと考えております。また、大都市制度改革の検討との関係からは、大都市が県所管の事務権限をすべて引き受けていくことを提示しており、ますます広域自治体のあり様、形が問われる状況です。さらに、県などの区域は、明治期以来120年以上も改革がないまま、今日に至っています。防災、広域インフラなど、県などの区域を大きく越える行政課題への対応を考えますと、現行の県などの区域や、役割を見直す時にきていると思っております。

道州制は国・地方間の改革と、基礎自治体と新たな役割に転換していくべき広域自治体の観点から捉えますと、有効な手段だととらえております。

今回このような視点から、道州制推進の輪に加わることにさせていただきました。4月20日には都内で設立総会が開催されました。そういったことで道州制、基礎自治体の広域連携、どうあるべきかを推進していきたいと思っております。

さて、すでにご案内かと思いますが、来月21日、全国で金環日食が観察されるわけでございます。本市におきましては173年ぶりに観測されるということで、大変貴重な機会と考えております。

このことから、すべての市立小学校72校で、授業の時間を早めたりしながらすべての児童が観測できるようにしたいと考えております。また、児童が安全に観察できるよう先日JAXA相模原キャンパスにご協力をいただき、職員向けの研修を実施しました。当日は児童の皆さんが安全に観察できるよう、この「日食スコープ」を児童約37,000人に配布したいと思っております。

この観察「日食スコープ」ですが、5月5日に公開される兄弟で宇宙飛行士を目指す、JAXA協力の映画「宇宙兄弟」のタイアップも検討させてもらっております。今後、この「日食スコープ」に宇宙兄弟とのタイアップなどの内容を入れていきたいと考えております。学校における観察の具体的な内容につきましては、教育委員会を通しましてお知らせしたいと考えております。

最後になりますが、今週末からゴールデンウィークになるわけでございます。相模原市の6大観光行事のうち、2つの大きなイベントが開催されます。4月29日からは、中央区田名の高田橋周辺で25回目となります「泳げ鯉のぼり相模川」、が開催されます。また、5月4、5日の2日間は、新磯地区の相模川河川敷で日本最大の大凧まつりである「相模の大凧まつり」が開催されます。河川敷を利用して開催されます。ぜひ、取材をお願いしたいと思います。

私からは以上でございます。

**(記者)**

今回の金環日食にあわせ、市内の小学校で、授業時間などを変更されますが、この狙いは何でしょうか。

**(市長)**

173年ぶりの貴重な機会ですし、児童の皆さんにぜひ見ていただきたいという思いからです。

金環日食が観測できる時間が、午前7時31分から7時36分頃と伺っております。この時間に観測するためには授業時間の調整が必要になりますので、授業時間を早めるなどの調整をしながら対応をし、児童に観測をしていただきたいと思っております。

**(記者)**

児童の安全対策はいかがでしょうか。登校の時間と重なると思いますが。

**(市長)**

学校や教育委員会などにおいて、いろいろ安全な対策があろうかと思っております。詳細については現在、つめているところです。安全な環境の下、観測をしていただきたいと思っております。

**(記者)**

通常、登校中の時間帯が金環日食ですね。

**(市長)**

児童の登校など安全対策、また、目を傷めないよう「日食スコープ」を使うなど、そういった対策もしっかりやっていきたいと思っております。

(記者)

珍しい試みですが、市長ご自身はどう思いますか。

(市長)

私も子どもの頃、日食を観察しました。当時はこのようなスコープなどはありませんでしたので、ガラスなどを加工して、目を保護しながら観察をしたことを思い出しました。

貴重な機会ですので児童の皆さんに金環日食を見ていただければと思っています。そして宇宙への夢を広げていただければと思っています。

(記者)

道州制のことですが、「道州制をぜひ推進していきたい」と以前発言されていましたが、県は大都市制度の検討を始め、横浜市は提言をまとめました。相模原市としての提言はどのようになりますか。

(市長)

本市は、24年度中にとりまとめをしていきたいと思っています。大都市制度のあり方をこういったものにと研究をしています。

現行の中で自治体のあり方をいろいろ自治体で研究されています。都構想、州構想、新たな別の試みみたいなもの。つい最近も神奈川県で独立国家的な発想も出されたわけです。

いずれにしても住民サービスを行う上で、どういう自治制度がいいのか、特に大都市圏といいましょうか、神奈川県におきましては3つの政令市という大きな自治体が形成されております。また、120年以上国、都道府県、基礎自治体という3層構造が二重行政、三重行政を生んでいることが今、問われていますのでそういったことを含め、日本の中で検討、提案されていますことを基礎にさせていただきながら、相模原市としましてどうあるべきか、24年度中に課題、方向性を見極めながら本市として一番どういう形がいいのか、検討し決めていきたいと思っています。

私は個人的にはもう少し広域連携で、言葉で言うなら「道州制」。こういったものに自治体のあり方があるべきではという思いを持っております。